

青山台地区の今後のスケジュール

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
・周辺住民アンケート調査	・くちなし公園 トイレ・ブランコの更新 ・地域の話し合い（WG） （地区内全体の公園・遊園の役割を決定）	・くちなし公園設計 ・その他の公園・遊園 検討結果を踏まえて順次整備（予算・状況等に応じて）	・くちなし公園工事 ・青山公園（トイレ周辺） 設計・工事（R8年度以降）

ワーキンググループの開催

開催日時	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
令和6年8月9日	①遊園・公園のあり方の検討 どのように利用したいか、どんな社会実験をすればよいか、を考えました	②くちなし公園の再整備の検討 公園のコンセプト、どんな施設があったらいいか、話し合いました						
9月2日	① 将来の使い方を想定した、社会実験の内容や方法について意見交換しました	② 斜面を活かした遊具とは？子どもたちが楽しめる公園について考えました						
9月24日	① 菜園社会実験の10月実施に向けて、具体的な計画を立てます。その他、遊園のあり方を検討するため、利活用促進につながる社会実験についても考えます。	② くちなし公園の目指す姿を皆さまで共有し、公園の目玉となる遊具のイメージや梅林の整備などについて考えます。						
10月				菜園社会実験の実施（10月～）				
11月				引き続き、社会実験の実施に向けて考えます		引き続き、再整備の内容について考えます		
12月						その他の社会実験の実施		
令和7年1月							社会実験で明らかになった課題等を整理し、公園・遊園の役割について、具体的に考えます	
								これまでの検討内容を踏まえ、「公園・遊園のあり方」を取りまとめます

※スケジュールは協議の状況などに応じて変更されることがあります

発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：白井・中平）

TEL：06-6834-5364 FAX：06-6834-5486 E：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

業務受託コンサルタント：株式会社総合計画機構

青山台 公園未来への協議 ワーキンググループ NEWS LETTER vol.1

地域の皆さまとともに進める

公園の整備と遊園の機能再編に向けて

吹田市では、持続可能な維持管理を進めていくため、将来のニーズを踏まえつつ、今後は施設の数、内容を見直し、管理しやすく整備していく方針です。

そこで、青山台地区をモデルとして、地区にふさわしい未来の公園・遊園のあり方について、青山台連合自治会のみんなの公園委員会のメンバーと話し合うワーキンググループ（WG）を設置しました。

このWGでは、将来のニーズに合った公園の整備や管理につなげていくことを目指し、以下の2つの目的で話し合いを進めていきます。



目的1 地区内の遊園の今後の使い方や役割を、社会実験などを通じて考える

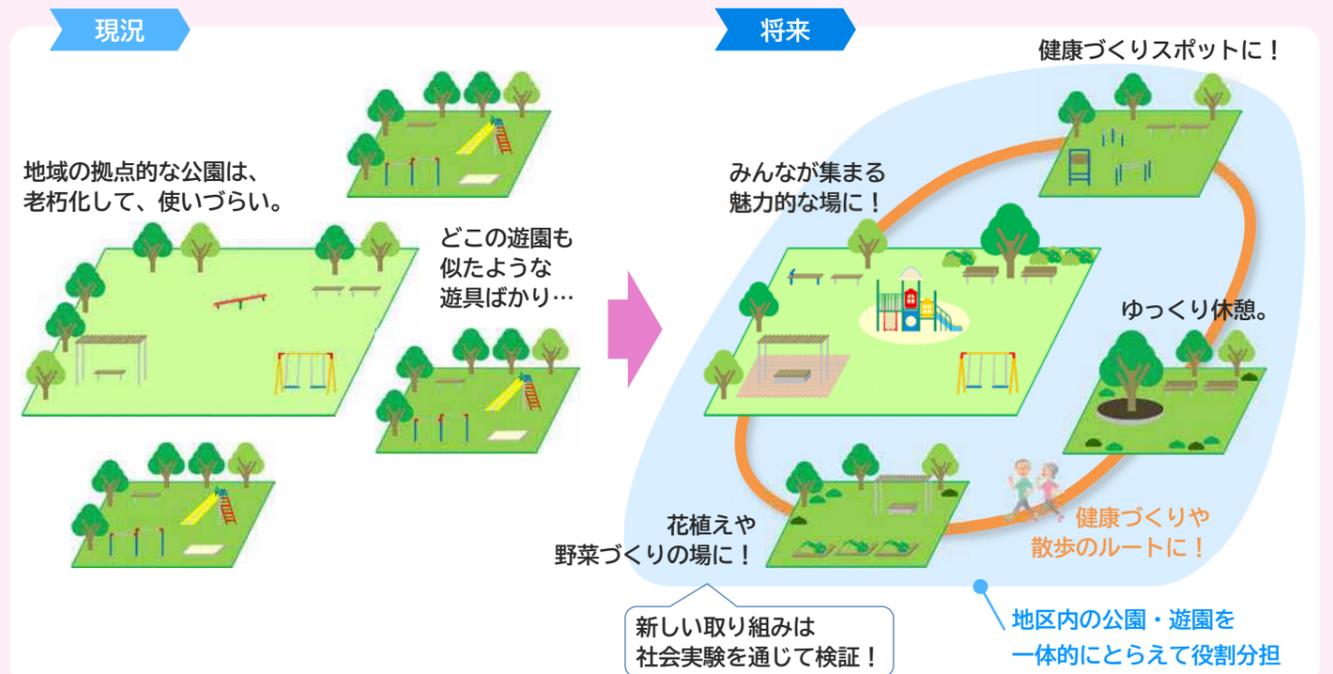


社会実験等の実施による効果や問題点を明らかにし、青山台地区の公園・遊園を今後どうしていくか、地域の皆さまと一緒に考えていきます。

目的2 拠点的な公園（くちなし公園）の再整備内容を考える



くちなし公園は、設置から約50年が経過し、施設の老朽化のほかバリアフリーや樹木管理などで課題があります。現在の状況を踏まえながら、どんな公園にしていきたいか、地域の皆さまと一緒に考えていきます。



くちなし公園の再整備について

どんな公園にしたいか、どんな施設があったら良いか、意見を出し合いました。

意見の紹介（一部抜粋）

第1回

- 高低差を活かした遊具（斜面ジャングルジム+滑り台）が良いと思う
- 芝生の小山で遊ぶのも楽しいのではないかな
- 広場からパーゴラ（休養ゾーン）までのスロープ設置が必要とは思っていなかった
- 地域の人に利用される梅林になると良い
- 季節ごとに楽しめる樹木もあると良いのではないかな

第2回

- くちなし公園と遊園に健康遊具を設置して巡ることができるのは良いと思う
- それぞれの遊園まで歩いた距離がわかる表示があると良い

○スロープの設置は費用がかかるということだが、再度必要かどうか検討したい



- 「くちなし公園らしい」遊具を考えてほしい
- 遊具を考えるにあたって、幼稚園児向けの青山公園、小学生向けのくちなし公園というように区別してもらいたい
- ボール遊びやアスレチックなども含めた選択肢で小学生アンケートをしてはどうか



まとめ【くちなし公園】

- 高低差を利用した遊具について、もう少し具体的にイメージできるような案を示す
- 梅林付近の整備方法（休憩所、園路等）について検討する
- スロープ設置の必要性について、地域の方々の意見をまとめる
- スロープ設置についての意見をうけて、整備内容やスケジュールなどを検討し直し、地域の方々に提案する

まとめ【社会実験】

- フェニックス遊園で、菜園・花壇利用の社会実験を行えるよう、進めていく
- 実施にあたって必要な資材は市から提供されるが、地域の方々の案内や許可などはWGで行う
- はっぴー遊園については地域の方々でもう一度考え、方針を決定する



社会実験の実施に向けて

遊園における、今後の使い方のアイデアを実際に試行する社会実験として、「どんなことをしたいか、どんな機能があったらよいか、どう管理すればよいか」などについて意見交換しました。

意見の紹介（一部抜粋）

第1回

- 青山台が楽しくなる、遊園・公園の活用が持続する仕組みづくりをテーマとしたい
- 皆が集まれる家の縁側のような使い方が向いているのでは。→そのためには木陰が必要
- 楽しく遊園めぐりができる仕掛け（ベンチや健康遊具などの設置）を検討してほしい
- 農園や花壇をやってみたいという人は多く、水道が必要だと思う

第2回

【今後の遊園について】

- 遊園を庭のように感じている方もいるので、できるだけ残して欲しい。草刈りなど、自分たちでできることを考えていきたい
- 魅力がないから使われないので、子どもやお年寄りに魅力ある遊園について話し合っ、いろいろな人が入ってきやすい遊園がよい

【菜園・花壇利用の社会実験について】

- 周辺に取り組みたい若い人の多いはっぴー遊園と、水道のあるフェニックス遊園で、小規模で良いので実施したい
- 参加者がいるか確認する必要があり、どの遊園で実施するのが適切か、今後の展開も考えると、評価基準を決めておく必要があるのではないかな

【その他社会実験について】

- 地域と市にメリットのある社会実験がよい
- 社会実験として、遊具をペンキで塗り直すことも考えてみたい



WG 開催概要

- 第1回 開催日時：令和6年8月9日（金）13：00～
開催場所：吹田市総合防災センター 会議室
参加者：11名（地域住民2名、市4名、JICA外5名）
- 第2回 開催日時：令和6年9月2日（月）17：30～
開催場所：くちなし公園現地⇒市民ホール会議室
参加者：16名（地域住民8名、市4名、JICA外4名）